

# 腐植



## 土壌中の有機物含有量の指標

腐植とは土壌に含まれる有機物のことで、土壌の物理性、化学性、生物性を良好にするための重要な物質であり指標です。

腐植は、微生物によって時間の経過とともに分解していくうえに、耕うん作業等により土壌の構造が破壊されたり、酸素供給量が多くなるとさらに分解が進んだりするため、堆肥などの有機物の施用により補給する必要があります。

## ◆目標

腐植の目標は、水田（灰色低地土など）で乾土当たり2%以上、普通畑（黄色土など）で3%以上となっています。

表-13 地力増進基本指針における土壌有機物含有量の改善目標

区分	土 壌	目 標
水田	灰色低地土、グライ土、黄色土、褐色低地土、 灰色台地土、グライ台地土、褐色森林土	2%以上
	多湿黒ボク土、泥炭土、黒泥土、黒ボクグライ土、 黒ボク土	—
普通畑	褐色森林土、褐色低地土、黄色土、灰色低地土、 泥炭土、暗赤色土、赤色土、グライ土	3%以上
	黒ボク土、多湿黒ボク土	—
	岩屑土、砂丘未熟土	2%以上
樹園地	褐色森林土、黄色土、褐色低地土、赤色土、 灰色低地土、暗赤色土	2%以上
	黒ボク土、多湿黒ボク土	—
	岩屑土、砂丘未熟土	1%以上

## ◆改善のポイント

有機物を施用して、すぐに土壌中の腐植含有量をあげるのは一般に困難です。有機物を多く施用すると窒素などの養分過剰となる可能性があるため、一時的に施用できる量には限界があります。

そのため、腐植含有量を改善するには、堆肥などを連用して、長年の集積効果を利用することが大切です。